

第48回資金管理業務諮問委員会 議事録(確報)

1. 日時:平成24年9月21日(金)15時00分～16時15分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者:永田委員長、鬼沢委員、小島委員、酒井委員、辰巳委員
以上5名出席
その他 公益財団法人自動車リサイクル促進センター事務局(議案説明者を含む)、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題:①平成24年度第1四半期決算報告(案)について
②平成24年度第1四半期の運用の評価について
③資金管理料金の収支について
④その他
※議題④の「その他」については当初議外報告としていたが、委員からの指摘を受け議内報告とした。

5. 議事録

(1) 議題①について

平成24年度第1四半期決算報告(案)について、事務局から、資料3-1から資料3-7にて説明し、案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

資料3-2の中にある番号不明被災自動車の総台数について、妥当性は検証しているか。

【事務局】

もう少し低い数字になるのではとの意見もあるが、現在、本財団で情報収集中のため、今回の委員説明では、これまでと同様に23,000台とし、報告させていただいた。現在の情報収集を踏まえて、12月には番号不明被災自動車の総台数の見直しを考えている。

【委員】

資料3-2の欄外の記述にも資料3-5と同様に、金額がマイナスの場合の記述を加えて欲しい。

【事務局】

承知した。

【委員】

資料3-5の還付消費税収入の想定進捗率について、予算の進捗状況を立てるのが困難ということであるが、その旨を最初から記載しておいた方が良いのではないか。

【事務局】

資料を修正する。

【委員】

財団運営費等の根拠、内訳について、何年かに一度は我々にも示して欲しい。

【事務局】

承知した。

(2) 議題②について

平成24年度第1四半期の運用の評価について、事務局から資料4-1及び資料4-2にて説明し、案のとおり承認された。

(3) 議題③について

資金管理料金の収支について、事務局から資料5にて報告した。
委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

この報告の目的を説明して欲しい。

【事務局】

当初11年での収支均衡を前提に資金管理料金を設定した。収支均衡の3年程度前には収支均衡後の料金について検討をはじめめる必要があるため、毎年度見通しを報告している。

【委員】

前回に比べて大分収支が改善されているので、当面すぐに料金のことを議論しなくてはいけないという状況ではないと考えていいのか。

【事務局】

そのとおりである。

【委員】

来年度の報告の際には、預託台数等の前提条件にも少し幅を持たせて、見通しを示して欲しい。

【事務局】

承知した。

(4) 議題④について(当初議外報告)

「その他」として、被災地における番号不明被災自動車の処理の現状確認について、事務局から資料6(当初議場配付資料)にて報告した。

委員からは次の意見があった。

<意見>

【委員】

今後の訪問予定はあるのか。

【事務局】

今年度の再訪問の予定はない。来年度は、処理の進捗を観て、訪問を検討する。

【委員】

現場がどのようなサポートを必要としているかを整理して、対応して欲しい。

【事務局】

引き続き、JARCの番号不明被災自動車担当から被災自治体に対して番号不明被災自動車のスキーム周知や、自動車リサイクルシステム全般にかかわる問合せ対応等のサポートを行う。

【委員】

番号不明被災自動車でもエアバッグやフロンは回収できるのか。

【事務局】

関連事業者は、番号不明被災自動車についても自動車リサイクルシステムで処理を行うとする国の方針に沿って、方法等を工夫しながら回収している。

【委員】

この報告も議事内の報告として欲しい。

【事務局】

承知した。

以上